

本稼働向けユーザテスト仕様書 AP（自己デスク）編

Version 2026.03.18



Table of Contents

1. 全体概要	1
1.1. スケジュール	1
2. 実施環境	2
2.1. URL	2
2.2. オンライン時間	2
2.3. 推奨環境	2
2.4. ユーザID	2
2.5. テスト銘柄	2
2.6. 環境利用不可日	3
2.7. 各ファイル仕様・サンプルファイル	4
3. テスト環境におけるユーザテスト	5
3.1. 業務シナリオテスト	5
3.2. 連動テスト	6
3.3. 完了報告	6
4. 本番環境におけるユーザテスト	8
4.1. ログインテスト	8
4.2. 連動テスト	8
4.3. 完了報告	8
5. フォールバックプラン	9
6. お問い合わせ先	10

Chapter 1. 全体概要

- 本ドキュメントは、CredNex（新ETF設定交換プラットフォーム）の本稼働時点における機能を対象としたユーザテストの概要を記載したドキュメントです。
 - 本稼働時点の機能とは、2026年6月に稼働を予定している現物型ETFを対象とした機能群を含む、すべての機能を指します。
- 本資料は、2025年9月の初回稼働時点からCredNexに参画済のAP（以下、先行AP）、および2026年6月から新規参画するAP（以下、新規AP）の双方が対象となっています。

1.1. スケジュール

ユーザポータルサイトの「本稼働対応 2026年6月 専用ページ」をご確認ください。

[本稼働対応 2026年6月 専用ページ](#)

Chapter 2. 実施環境

2.1. URL

CredNex テスト環境

<https://stg.crednex.jp.co.jp>

CredNex 本番環境

<https://crednex.jp.co.jp>

2.2. オンライン時間

テスト可能なオンライン時間は以下のとおりです。

営業日 7:00～22:00

※テスト・本番環境で共通

2.3. 推奨環境

OS: Windows 11

ブラウザ: Google Chrome または Microsoft Edge

※テスト・本番環境で共通

2.4. ユーザID

AP権限ユーザのID・パスワードは申請書の内容に基づき別途配布します。

AP権限ユーザは、申込のみ可能なユーザ(申込者)と、承認のみが可能なユーザ(承認者)に区別されており、申請書の内容に基づき配布されます。

先行APIは、既に払出済みのユーザIDおよびパスワードをご利用ください。

2.5. テスト銘柄

AMが提出した申請内容に基づき登録した「①実銘柄」と、APが独自にテストを行うための「②テスト銘柄」をご利用いただけます。

①実銘柄

本番運用開始後に実際に使用される銘柄を指します。AMの申請内容を基に、CredNex本番環境・テスト環境双方に銘柄を登録しています。

指定参加者として登録されたAPおよび銘柄を取り扱うTBのみが、申込登録や承認などの操作を行えます。

後述の連動テストは、本番運用を忠実に再現するため、必ず本銘柄をご利用ください。

②テスト銘柄

各社APが自由に申込登録が可能なテスト銘柄です。

テスト銘柄のAMおよびTBは、CredNex事務局が登録したダミーユーザになります。他組織のAPやAM・TBは、当該銘柄の申込に関する閲覧・操作ができません。ご自身の組織内で完結したテストを行いたい場合は、本銘柄をご利用ください。

テスト銘柄への申込登録後、CredNex事務局が自動的かつ定期的にAM承認・拒否、AM取消承認・取消

拒否、計算書の登録・承認を操作することで、各社APのテスト実施を支援します。
 なお、CredNex事務局による自動操作は、2分以内に処理されます。申込日が当日に設定されている申込が自動処理の対象となります。申込日が翌営業日以降の場合、自動処理は行われませんのでご注意ください。

テスト銘柄は計3銘柄あります。それぞれの銘柄詳細については下記を参照ください。

銘柄コード AT210

申込は常に自動承認され、取消申請も常に承認される銘柄。

AMが申込を承認するテストケースに利用可能。

計算書確定日はT+0 (T=申込日) です。 計算書確定日=本日かつ申込ステータス=承認済である申込は、CredNex事務局の自動処理により2分ごとに、計算書の登録およびTB承認を実施して、申込ステータスは計算書確定済に遷移します。実際のAMが登録した計算書を用いるテストを実施する場合には、連動テストの中で実施すること。

銘柄コード AT220

申込は常にAM拒否される銘柄。

AMが申込を拒否するテストケースに利用可能。

銘柄コード AT230

申込は常に自動承認され、取消申請は常に拒否される銘柄。

AMが取消申請を拒否するテストケースに利用可能。

計算書確定日はT+0 (T=申込日) です。

No.	銘柄コード	商品属性	申込の数量指定方法	AM承認(申込)	AM承認(取消申請)	計算書登録およびTB承認	債務引受(設定)	債務引受(交換)	計算書確定日	決済日
1	AT210	現物設定・現物交換	設定：PCFおよびユニット数 交換：口数	自動承認される	自動承認される	自動登録・承認される(2分おき)	ありまたはなし	あり	T+0	債務負担ありの場合 T+2 債務負担なしの場合 T+0
2	AT220	現物設定・現物交換	設定：PCFおよびユニット数 交換：口数	自動拒否される	なし	なし	あり	あり	T+0	T+2
3	AT230	現物設定・現物交換	設定：PCFおよびユニット数 交換：口数	自動承認される	自動拒否される	なし	なし	なし	T+0	T+0

2.6. 環境利用不可日

CredNexはユーザテスト開始後も利便性向上のため開発を継続します。そのため、環境が利用できない日が発生する可能性があります。

利用不可日時は事前にアナウンスし、ユーザポータルサイトの「本稼働対応 2026年6月 専用ページ」で公開します。

[本稼働対応 2026年6月 専用ページ](#)

2.7. 各ファイル仕様・サンプルファイル

CredNexユーザポータルサイトの「ファイル設計書 / サンプルファイル」をご参照ください。

[本稼働対応 2026年6月 専用ページ](#)

Chapter 3. テスト環境におけるユーザテスト

テスト環境では、業務シナリオテストの実施を必須とします。連動テストの実施は任意です。

3.1. 業務シナリオテスト

CredNex上でAPが可能な操作は原則すべて実施し、その結果が想定どおりかを確認します。

APの設定交換業務における一連のフローを、以下の観点で確認します。

具体的な実施ケースは本資料の「テストケース」項目および別紙「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧 兼 完了報告書_AP(自己デスク)」をご参照ください。

使用する銘柄は、本ドキュメント「テスト銘柄」欄に記載の「②テスト銘柄」をご利用ください。

なお、業務シナリオテストにおけるCredNex画面上操作の手順・方法につきましては、CredNexユーザーポータルサイトの「CredNex操作マニュアル」をご参照ください。

[本稼働対応 2026年6月 専用ページ](#)

観点

GUIまたはAPIによる申込～承認フロー

GUI操作またはAPI呼び出しにより、申込登録から承認、取消承認までの一連のフローが問題なく実行できるかを確認します。

定常運用におけるAPの操作可能範囲をステータス遷移図上で青色で示しています。

各操作を行うことで、期待どおりに申込ステータスが遷移するかを確認します。

各種情報取得

GUI操作またはAPI呼び出しにより、申込情報、計算書、銘柄マスタ、PCF、申込受付不可日の各種ファイルがダウンロード可能であること、また必要に応じて使用しているシステム・ツール等で正常に取込が可能であることを確認します。

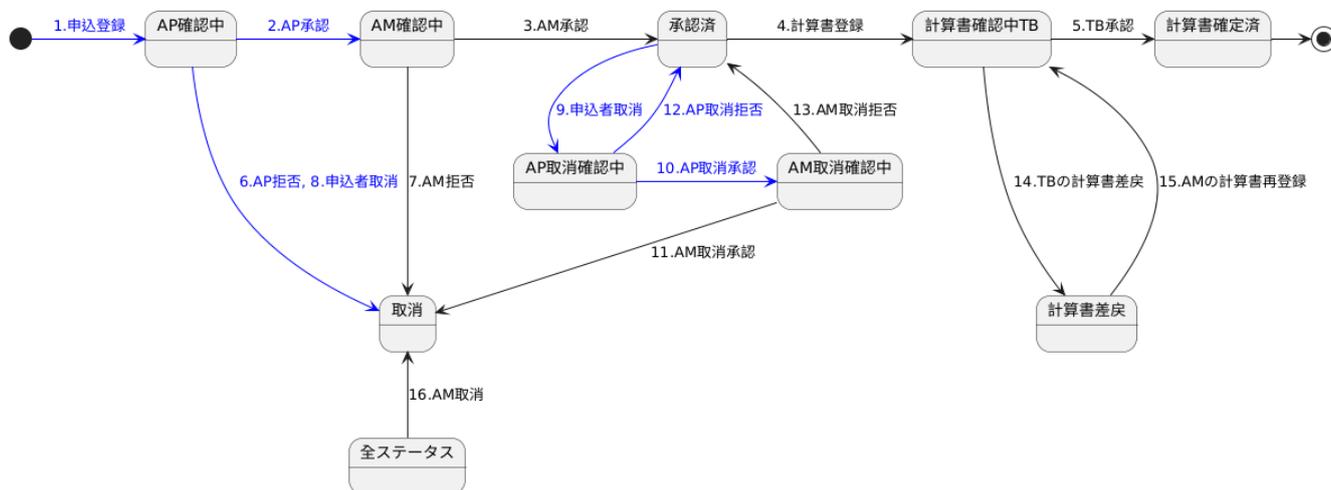


Figure 1. ステータス遷移図: APが操作可能な部分は青色で表示。

3.1.1. 環境条件

ユーザテスト期間中は、債務引受有りの申込であっても、債務引受データは現物清算システムに連携されません。

そのため、CredNex上で承認された債務引受情報は、現物清算システムで参照できませんのでご注意ください。

3.1.2. テストケース

CredNexでは、ユーザインターフェースとしてGUI画面とWebAPIを提供します。
GUIまたはWebAPIどちらかでの業務シナリオテストの実施を必須とします。
本番運用で使用するユーザインターフェースを選択の上、テストを実施ください。

No.	テストケース カテゴリ	必須/ 任意	説明
1	ログイン	必須	CredNexのログイン画面にアクセスでき、二要素認証の認証コードがメールに届くことを確認する。また、そのコードを用いてログインできることを確認する。
2	申込登録	必須	申込入力画面で申込情報を入力し、申込が登録できることを確認する。
3	申込情報の閲覧	必須	申込一覧画面、申込詳細画面で登録した申込の情報が正しく閲覧できることを確認する。
4	承認・拒否	必須	申込をAP承認またはAP拒否して、申込が適正に遷移したことを確認する。
5	取消申込の登録および取消承認・取消拒否	必須	取消申請を登録およびAP取消承認またはAP取消拒否して、申込が適正に遷移したこと及び通知メールが配信されることを確認する。
6	申込情報のダウンロード	必須	申込情報のファイル取得が可能なことを確認する。
7	計算書のダウンロード	必須	計算書のファイル取得が可能なことを確認する。
8	銘柄マスタの確認・ダウンロード	必須	銘柄マスタの画面閲覧およびファイル取得が可能なことを確認する。
9	申込受付不可日のダウンロード	必須	申込受付不可日のファイル取得が可能なことを確認する。
10	PCFのダウンロード	必須	PCFのファイル取得が可能なことを確認する。

詳細なケース内容や実施手順は、「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧 兼 完了報告書_AP(自己デスク)」をご参照ください。

3.2. 連動テスト

関係するAMやTBが申込に対して操作することで、本番業務運用フローを疑似的に検証する連動テストを実施可能です。

必要に応じて、銘柄の発行者となっている各AMと調整のうえ、実施内容・日時をご調整・ご判断ください。

また、顧客であるMMとの連動テストについても実施可能です。MMが申込登録を行い、APが承認・拒否するフローをご確認いただけます。MMとの連動テストについても、上記のAMとの連動テスト実施日に行うことを推奨します。

連動テストは任意実施であり、テストケースに東証からの必須条件はありません。ただし、使用銘柄は本ドキュメント「テスト銘柄」欄の「①実銘柄」をご利用ください。

3.3. 完了報告

テスト完了後は、「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧 兼 完了報告書_AP(自己デスク)」に必要事項を記入し、「お問い合わせ先」に記載の東証CredNex担当宛にメールでご提出ください。
テスト環境における完了報告書の提出期限は2026/5/29（金）です。

ご不明点は記載の連絡先までお問い合わせください。

Chapter 4. 本番環境におけるユーザテスト

本番環境でのログインテストの実施を必須とします。

なお、本番環境における連動テストに関しては、新規AP・先行APともに実施は任意です。

4.1. ログインテスト

新規APにおいては、本番環境でのログインテストの実施を必須とします。

新規APには5月上旬を目処に、ユーザIDを配布しますので、本番環境でログインできるかを事前にお試しください。

ログインまでの実施となり、本番業務の運用は情報登録期間（2026/6/23～予定）から開始してください。

具体的な実施ケースは「テストケース」項目または別紙「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧兼完了報告書_AP(自己デスク)」のうち、「1. ログイン」をご確認の上、実施結果を記載ください。

先行APにおいては、ログインテストの実施は不要です。

4.1.1. 環境条件

既に一部の金銭型ETFの本番業務運用が開始されているため、新規APにおいてはログインのみを実施ください。

4.1.2. テストケース

No.	テストケースカテゴリ	必須/任意	説明
1	ログイン	必須	CredNexのログイン画面にアクセスでき、二要素認証の認証コードがメールに届くことを確認する。また、そのコードを用いてログインできることを確認する。

詳細なケース内容や実施手順は、「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧兼完了報告書_AP(自己デスク)」をご参照ください。

4.2. 連動テスト

内容・テスト項目についてはテスト環境と同様です。

連動テストを実施いただけるタイミングは、以下の日時となります。

2026/5/16（土） 時間未定

※詳細な時間については、別途ご案内いたします。

4.3. 完了報告

テスト完了後は、「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧兼完了報告書_AP(自己デスク)」に必要事項を記入し、「お問い合わせ先」に記載の東証CredNex担当宛にメールでご提出ください。

本番環境における完了報告書の提出期限は2026/5/29（金）（予定）です。

ご不明点は記載の連絡先までお問い合わせください。

Chapter 5. フォールバックプラン

2026年6月に予定しているCredNexの本稼働において、CredNexへのシステム移行ができないと判断された場合は、CredNex・現行PFの銘柄マスタは移行前の状態に戻り、各システムにおいて本番業務を継続する方針（フォールバックプラン）を想定しています。

CredNexおよび現行PFの各システムの銘柄は移行前のマスタ状態に戻り、CredNexに移行予定であった銘柄における設定交換業務は現行ETFPFで取り扱われます。

CredNexに移行済みの銘柄は、引き続きCredNexで取り扱われます。

なお、フォールバックプランの発動タイミングによっては、マスタの復旧後、CredNexにおける移行済み銘柄における設定交換業務を、新しいインターフェース（GUI・API）で実施いただくか、本稼働前の古いインターフェースで実施いただくかが異なります。

どちらの方針とするかは、フォールバック発動時のご案内にて明記する予定です。

フォールバックプラン発動時を想定した依頼事項は以下のとおりです。

- 東京証券取引所・JPX総研・JSCCが協議した結果、フォールバックプランの発動が必要と判断された場合は、ユーザ全員に周知の上、現行ETF設定交換プラットフォームで業務を継続するための作業を行います。
- フォールバックプラン発動時は、CredNexに移行予定だったETF銘柄の設定交換業務を、現行ETF設定交換プラットフォームで継続していただきます。

Chapter 6. お問い合わせ先

東京証券取引所 株式部 CredNex担当
JPX総研 ITビジネス部 CredNex担当

メール

ask-crednex@jpx.co.jp

※メール件名に「組織名」を記載いただきますと幸いです。

電話

03-3666-0141（代表）

※現行ETF設定交換プラットフォームや清算制度に関するご質問は、お手数ですが日本証券クリアリング機構（JSCC）へお問い合わせください。